

生徒一人ひとりの希望進路の実現をサポート 企業・公務員の両方に対応する手厚い就職支援

昭和23(1948)年に開校した東京都立五日市高等学校(東京都あきる野市、松崎真理子校長)は、地域や企業と連携した取り組みを積極的に行っているのが特徴だ。進路指導部主任の中村俊佑主幹教諭を訪ね、同校の特徴と共に、手厚い就職支援についてお話をうかがった。

●特色豊かな3コースを設置

本校は東京都の中でも自然豊かなことで知られるあきる野市に校舎を構えています。そのため、1年次の「総合的な探究の時間」ではマス釣り体験や林業体験、自然観察など、地域の特色を活かした探究活動を行っています。

また、2年次からは進学・就職の両方に対応可能な「アドバンスコース」、野外活動実習が豊富に用意されている「アウトドアコース」、地元企業と連携してビジネススキルを育む「マネジメントコース」の3コースに分かれ、生徒の興味・関心に応じた多彩な学びを

提供しています。

卒業後の進路は、大学・短期大学進学が約3割、専門学校進学が約4割、就職が約3割と、幅広い進路を実現しているのも特徴の一つになっています。

●企業のPR動画を制作

本校では1年次の夏季休暇期間は全員が企業等でインターンシップに取り組む「ジョブキャンプ」を行っています。これは、東京都が主催している都立高校生向けのキャリアイベントで、生徒にとっては就業体験を通して働くことの意義や楽しさにふれられる貴重な機会となっています。

また、2年次の夏季休暇期間は就職希望者に対しては、認定NPO法人育て上げネット(本部東京・立川市)と連携してインターンシップに参加できるプログラムを用意しています。このインターンシップでは、

就業先企業の魅力を1～2分程度の動画にまとめて後日発表するという課題を与えています。企業の人事・採用担当者が自社のPR動画を制作することはよくありますが、高校生が企業のPR動画を制作するのは珍しいと思いますので、企業の方からも大変好評をいただいています。

そして3年次に進級すると、就職希望者に対して企業の人事・採用担当者を招いた模擬面接を行います。高校教員ではなく、企業の方が面接官になることで、生徒は本番さながらの緊張感の中、受け答えや所作についての確にアドバイスを得ることが期待できます。

また、近年は企業だけではなく公務員を目指す生徒も増えてきました。そのため、あきる野市の職員や警察・消防・自衛隊で活躍する方を招いて仕事の魅力を語ってもらう機会も積極的に用意しています。今後も外部の方々と連携を図りながら、生徒の希望進路の実現を支援していきます。



中村 俊佑
進路指導部主任
主幹教諭